



大雨！台風！台風！ ごみ処理に追われた秋

台風 26 号によってうち上がった大量の缶 藤沢市片瀬東浜

台風の直撃のない夏を過ごし、このまま静かな秋を迎えるのかと思ったら、やはりそうはいきませんでした。9月から10月にかけて、大雨そして台風の襲来を連続で受け、神奈川県沿岸にも大きな被害ができました。特にごみの漂着が多かった3つの大雨・台風では、通常の清掃に加え、国から県に交付される地域環境保全対策費補助金（海岸漂着物地域対策推進事業）を活用した直営清掃部隊も投入、さらに、緊急清掃を実施し、フルパワーでごみの回収にあたりました。

9/5【大雨】



藤沢市片瀬西浜

9月5日、寒冷前線の影響で大気不安

定な状況となり、関東で大雨となりました。神奈川県海老名市では4日からの雨量が240ミリを超え、平年の9月ひと月分の雨量に相当する雨が降りました。

その影響で、藤沢市には境川・引地川、平塚市・大磯町には金目川から流れ出た人工ごみ混じりの木くずが大量にうち上がりました。

9/16【台風18号】

9月16日に愛知県豊橋市付近に上陸した台風18号は、その後も勢力を維持したま



小田原市酒匂川河口部

ま関東地方を北東に進みました。このため、関東地方は大荒れの天気となり、暴風や激しい雨に見舞われました。場所によって漂

着量にムラがあったのが台風18号のごみの特徴で、特に酷かったのが、横須賀市観音崎・三浦市金田海岸・葉山町森戸海岸・逗子市逗子海岸・茅ヶ崎市漁港西・平塚市袖ヶ浜・小田原市酒匂川河口部でした。

10/16【台風26号】

10月16日の午前中に関東地方に最接近した台風第26号の影響により、関東甲信地方は大荒れの天気となり、伊豆大島では大規模な土砂災害が発生したほか、各地で大きな被害が発生しました。

台風通過直後は、さほどごみの漂着は確認できませんでしたが、その二日後から、それまでの台風で流されてきて海底に沈んでいたと思われる缶が大量に海岸に漂着しました。

逆に、台風通過後にあまり強く南風が吹かなかったのと、それまでの台風などですでに相当量が流れ出てしまったために、木くずやビニールやペットボトルなどのごみは少なかったです。



バーベキューごみ対策について

神奈川県内の海岸では、春先から秋までの間、多くの方がバーベキュー（BBQ）を楽しんでいます。近年、一部の方がごみをそのまま放置するケースが目立ちます。こうしたごみの中には

生ごみが混入している場合が多く、悪臭を放つだけでなく、カラスや猫などによってごみが周囲に散乱する問題も発生しています。また、安価になった器材などを一度使ったらそのまま捨て

ていくケースも増えています。

こうした現状を踏まえて、県や地元各市町においても、パトロールや啓発活動を強化するなど、さまざまな取組みがなされています。

神奈川県では、今年の8月から11月末まで土日を中心に、延べ150回、海岸利用者のマナー向上のため、海岸でゴミの持ち帰りを呼びかけています。「みんなの海だよ！自分のごみは持ちかえろう！」と呼びかけるかながわキンタロウが目印です。また、利用者の方々には、かながわキンタロウのイラストが入った持ち帰り用の袋も配布しています。

多くの方が、海岸で気持ち良く過ごせるよう、マナーを守った海岸利用をお願いします。



中島中学校2年生の職業体験を受け入れました

11月11日～15日までの5日間、茅ヶ崎市立中島中学校の2年生4名が財団に職業体験にきました。

一日ごとに、パトロール・海岸清掃・ビーチグラス拾い・機械のペンキ塗り・イベントグッズ作りなど、さまざまな仕事を体験。

当初、海を見ながらのんびり仕事をするのかなと思っていた中学生たちは、海を眺める余裕もなく、ひたすらごみの山を片づけたり、重機のサビを落としたり、ペンキ

を塗ったりと、想像していたのとは異なる仕事に戸惑いながらも、一生懸命取り組んでいました。

彼らが学校や家庭に戻り、今回の体験したことを話すことによって、海岸美化の繋がりが広がってほしいものですね。

財団では、こうした中学・高校の職業体験や総合学習の時間を利用した環境講座などの受け入れを行っています。ご興味ある方は、お気軽にご連絡ください。



愛川町の第一回環境フェスタに出展してきました



海岸のごみの約7割は川から！海岸のごみを減らすには、河川中上流部への美化啓発も欠かせません。そこで、11月24日に、愛川町で開催された「第1回環境フェスタ」に出展してきました。

会場ではパネルを展示するだけでなく、ビーチグラスなどを使った工作教室も開催し、沢山の子もたちに対し、楽しみながらもしっかりと海岸ごみについてアピールしてきました。



国際海岸クリーンアップ 2013 を開催しました！

9月7日から10月6日まで、国際的なキャンペーン「クリーン・アップキャンペーン」に伴い、秋の県下一斉のビーチクリーン「国際海岸クリーンアップ 2013」を開催しました。

台風襲来が多かった時期でしたが、1会場だけが雨のため中止になった以外は、22会場で実施することができ、2,565人の方のご参加があり、約4.6トンのごみを回収することができました。

2014年海のカレンダー「Blue Sea Blue」が完成

2014年海のカレンダー『Blue Sea Blue』が完成しました。美化財団が清掃をしている横須賀から湯河原までの海の「ブルー」をひと月ごとに紹介しています。

このカレンダーは会員特典として会員の方に配布しておりますが、海岸美化へのご寄付をいただいた方にも、一口500円の寄付につき1部、差し上げています。

詳細は下記URLをご参照下さい。

<http://www.bikazaidan.or.jp/about/cn34/2014calender.html>



渚の植物物語 | クコ

秋も深まると海岸近くでも木々は色づき、実は赤や黄色に染まります。赤い実を付ける海岸植物の中でも、ひときわ透き通るように赤く、美しい実を付けるのが、クコの木です。

薬効効果が高く、葉は煎じてクコ茶として飲まれます。高血圧、頭痛、肩こり、疲労回復と、万能薬として重宝されます。

実は干してドライフルーツとして食べられるほか、酒につけてできるクコ酒は、古くから不老長寿

の妙薬として知られていて、薬膳のお粥の上ののっている赤い実もクコの実です。

あまり高い木の生えていない、ある程度湿り気のある水辺の砂地を好むということですので、海岸や砂防林の中は生育にうってつけの場所なんです。

いもどりが少なくなる秋から冬にかけての海岸で、鮮やかな赤い実を見つけるとクリスマスを連想してなんだか嬉しくなります。



なぎさ通信

●ボランティア数伸びてます

おかげさまで今年の海岸清掃ボランティア数が順調に伸びています。ボランティア数は、平成22年度に過去最高の149,681人を記録しましたが、震災の影響により平成23年度は106,090人に激減。平成24年度は128,354人まで回復しました。今年度は、このまま推移していけば、15万を超える見込みです。

●会員募集中です

おかげさまで会員の数も順調に伸びております。個人会員は一口1000円、団体・法人会員は一口10000円からの会費でご入会いただけます。入会特典のひとつとして、上記のカレンダーを一部プレゼント。詳細は下記URLをご参照下さい。

<http://www.bikazaidan.or.jp/kaiin/kaiin.html>